

CRC

1.動作概要

文字列「TOSHIBA」を2chのTSPIを用いてCRCコードを付加して送信、受信を行い、受信したデータをTeraterm画面に表示します。

2.基本動作

Teraterm 画面「command >」と表示されるので、送信を行いたい場合は「send」と入力します。

「send」コマンドが入力されると、文字列「TOSHIBA」にCRCコードを付加して送信され、
Teraterm 画面は、CRC Codeの値およびチェック結果を表示し最後に受信した文字列データを表示し
「command >」表示に戻ります。

3.ボード設定

評価ボード送信チャンネル側PA0(J7 4)と受信チャンネル側PC1(J10 2)を接続します

評価ボード送信チャンネル側PA2(J7 6)と受信チャンネル側PC2(J7 1)を接続します

TSPI送信側

DO	:PA0
CLK	:PA2

TSPI受信側

DI	:PC1
CLK	:PC2

UART設定

TXD	:PK1
ボーレート	:115200(bps)
データ	:8(bit)
パリティ	:なし
ストップビット	:1(bit)
フロー制御	無し

4.出力例

```
command > send  
CRC Code > 0xdfd8  
CRC Check: OK  
read data > TOSHIBA
```